

町の 議会だより

No. 83

平成21年8月発行



町制50周年記念 約300人が参加して開催された第32回鵜の池マラソン大会

— 主な内容 —

6月定例会	P 2
第3回臨時会	P 3
地域活性化・経済危機対策予算	P 4~7
一般質問(4名)	P 8~11
委員会構成	P 12

6月 定例会

六月定例会は、六月十五日から十九日までの五日間と会期を定め、一般会計補正予算、人事案件など四件を原案通り可決、同意。また、議員発議により意見書一件を提出しました。

一般会計 二十八億三千八百五十四万円に

一般会計補正予算は、一千六百二十三万八千円を追加し、二十八億三千八百五十四万八千円とした。

主なもの

【歳入】

○国県支出金 一千四百八十六万三千円

○寄附金 七十万一千円

黒坂商工振興連合会、オシドリグループからの寄附。

○諸収入 五十七万四千円

【歳出】

○町制五十周年記念事業費

(総額を二百七十八万円に) 百九十万二千円

○医療費助成 二百四十三万二千円

子供の医療費助成対象を小学校教育前までとしていたものを中学校修了までとするもので、七月一日から実施する。

○商工会交付金 三十万円
商工振興費

○道路維持費 百九十万円

町道等の法面除草、宝仏山の登山道の整備など。

○畜産業費 二百八十五万一千円

町営久住放牧場の立木伐採などの整備

○水産業総務費 五百八十四万円

特産品開発として沢ガニの量産化に向けた支援(三年間)

○学校管理費 △四百九十八万円

中学校の少人数学級に対応するため、協力を当初予算に計上していたが、研究指定校に決定し、県負担になったので減額するもの。

簡易水道特別会計

十万七千円を追加し、総額を一億一千七百三十八万二千円に。

○別所地区飲料水供給施設の滅菌機の取替え修繕を行うもの。

土地の無償貸付

○日野町安原に所在する、町有地を、下榎二区自治会に公園用地として無償貸付するもの。



下榎2区自治会公園

日野町教育委員会委員の任命に同意

任期満了に伴うもの

・生田英明氏(再任)

平成二十一年七月八日から四年間



期待される沢ガニの養殖(水産業総務費)

第三回臨時会

平成二十一年五月二十八日に開催され、提案された議案は専決処分二件、条例の一部改正一件、物品売買契約の締結一件であり、三件が原案通り可決、一件が反対多数で否決した。

専決処分

日野町税条例の一部改正

- ・ 公的年金等の所得に係る個人住民税の特別徴収の改正
- ・ 個人住民税における住宅ローン特別控除の創設

日野町国民健康保険税の一部改正

- ・ 介護給付金課税限度額の改正
- ・ 町長の裁量による八割軽減を行わない規定の廃止
- ・ 上場株式等に係る配当所得に係る国民健康保険税の課税の特例の追加

議員発議で意見書を提出

新たな過疎対策法の制定に向けて 内閣総理大臣及び関係大臣に

過疎対策については、昭和四十五年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、三次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、人口減少と高齢化は特に過疎地域において顕著であり、路線バスなど公共交通機関などの廃止、医師及び看護師の不足、耕作放棄地の増加、森林の荒廃など生活・生産基盤の弱体化が進むなかで、多くの集落が消滅の危機に瀕するなど、過疎地域は極めて深刻な状況に直面

している。

過疎地域は、我が国の豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、また、都市に対して、食糧の供給・水資源の供給、自然環境の保全といやしの場を提供するとともに、森林による地球環境温暖化の防止に貢献するなど多面的・公共的機能を担っている。

過疎地域は、国民共有の財産であり、国民の心より所となる美しい国土と豊かな環境を未来の世代に引き継ぐ努力をしている地域である。現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は平成二十二年三月末をもって失効すること

となるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域の振興を図りそこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市を含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

条例

日野町職員の給与に関する条例の一部改正

- ・ 平成二十一年六月に支給する町職員の期末手当を○・一月分減額するもの。(人事院勧告は○・二月分減額)

反対討論 佐々木 求議員

経済不況の中で政府をあげて消費経済の六割を占めるといわれる個人消費をいかに持ち上げるかという景気対策や定額給付金を一方で行いながら、給与面で逆にカットをしていくのは疑問、矛盾したあり方だと思えます。民間との比較という点でい

賛成討論 なし

反対多数で否決

物品売買契約の締結
小型ロータリー除雪車一台購入(一千八百四十八万円)

3億円の大型補正

国の地域活性化・経済危機対策で

22事業を
実施

第五回臨時会

平成二十一年七月十四日に開会し、二十一年度一般会計補正予算・特別会計補正予算二件・日野町職員等の旅費に関する条例の一部改正・専決処分二件を審議の結果原案通り可決、承認した。その内、一般会計補正予算の内容を報告します。

町道鶉の池線

道路改良

下樓く長楽寺間の「延命水」
個所の法面の復旧

五百万円

町道久住線

道路改良

一般県道菅沢日野線（改良
箇所除く）く久住分校前ま
の間 L11600mの内一部
を改良

四千万円

日野町営バス補助ステップ改修

町営バスを利用する高齢者や児童の昇降に配慮し、安全を確保する。

百万円



町営バスにステップの取り付け



町道久住線

根雨小学校体育館
耐震補強計画

児童の安全確保のため、耐震調査の結果、補強計画を作成する。

百九十万円



根雨小学校体育館

給食センター整備

老朽化した食器保管庫等を更新、良質な水質を確保する滅菌設備を取り付ける。

百九十万円



老朽化した屋根の修繕

真住公民館修繕

真住地区の地域活性化拠点施設の修繕、真住地区が高齢者を中心としたコミュニティ施設として活用を始めたが、屋根の老朽化が激しいため、ペンキを塗り修繕する。

二百万円

中山間地域移動販売 車両導入補助

中山間地域の集落において、高齢者への食糧・生活用品の提供と併せて高齢者の見守りを推進する。移動販売者の車両購入補助

四百七十万円



移動販売車



旧食糧事務所跡地を住宅地に整備

若者定住住宅整備促進

医療・福祉機関を始め、雇用の阻害となっている原因のひとつが住居の確保である。公的機関や民間との連携を図り、従業員住宅の確保と若

者の定住化が促進されるような住宅整備のための用地提供及び土地の造成をする。旧食糧事務所跡地（根雨）
二千四百四十万円

文化センター修繕

玄関外灯・舞台設備の修繕を行い、来館者の安全確保と地域の活性化を図る。

八百万円



文化センター設備の老朽化が進む



修繕が必要

施設が老朽化しているため、壁や柱の修繕を行う。
九十三万円

歴史民俗

資料館修繕

防火水槽設置

町内の水利確保が不利な地区四箇所防火水槽を設置し、火災の時の初期消火に備え、住民の安全な生活を確保する。
二千五百万円



防火水槽を4ヶ所に設置

地域活性化・経済危機対策の財源内訳

項目	金額
経済危機対策交付金	187,875千円
公共投資交付金	33,021千円
国庫補助金	45,830千円
電波遮へい対策補助金	32,340千円
地域情報通信基盤整備	13,490千円
県補助金	9,968千円
情報通信格差是正	6,468千円
コミュニティビジネス支援	3,000千円
暮らしを守る	500千円
一般財源	27,346千円
合計	304,040千円

携帯電話・町内全域で通話可能に 無線によるインターネット化を推進

電波遮へい対策

情報通信基盤の整備拡充として、携帯電話不感地区の解消及びブロードバンドゼロ地域の解消を図る。

三土地区、小原地区に携帯電話基地局を町が整備する。

その他の地区については、板井原、高尾、秋縄、久住地区に今年中にドコモが設置。

これらが整備されると、日

野町内はどこでも携帯電話が通話可能となる。また、携帯電話（データ通信専用機器）で、インターネット（ブロードバンド）大容量高速通信ができるようになる。

四千八百六十三万円

地域情報通信 基盤整備

情報通信基盤の整備拡充として、携帯電話不感地区の解消及びブロードバンドゼロ地域の解消を図る。

四千四十八万円



携帯電話中継局の整備が進む



無線（携帯電話）でインターネットが可能

公共施設地デジ改修

庁舎、公民館をはじめ公共施設の受信施設改修、地デジ対応テレビを購入する。

六百万円



公民館に地デジ対応テレビ

地上デジタル放送中継局整備交付金

民放放送事業者参画による中継局整備を推進し、町内の電波遮へい対策を講じる。日野局（古峠山）の設置。NHK（2波）、日本海テ

レビ、山陰放送、山陰中央各社がテレビ電波を出すもの。江府町と日野町が協調して要望し、整備費を交付する。

千百万円



古峠山に整備予定の中継局

日野町簡易水道会計繰出金 (水源改良)

根雨地区簡易水道水源について安心・安全な飲料水を供給するため、深井戸による水源を確保（事業は、簡易水道特別会計で実施。特別会計予算総額187,382千円に）

五千五百万円



根雨地区簡易水道の水源地

日野町簡易水道会計繰出金 (中央監視システム機器更新)

簡易水道監視機器が雷による故障のため、機器を更新する。

千五百万円

日野町公共下水道会計繰出金

公共下水道浄化センターの汚水ポンプ、非常用自家発電設備などの老朽化が激しく、機能が十分に発揮できないために修繕を行う。

（事業は、公共下水道事業特別会計で実施、特別会計の総額は151,849千円に）

八百万円



修繕が必要な日野中央浄化センター



電子黒板導入で教育の充実を

電子黒板導入

電子黒板（テレビ、パソコンなどの情報機器との連携、授業内容の保存など、より効果的な授業に役立つ）を根雨小学校、黒坂小学校に各一台整備する。
百六十万円

リバースポーツ振興

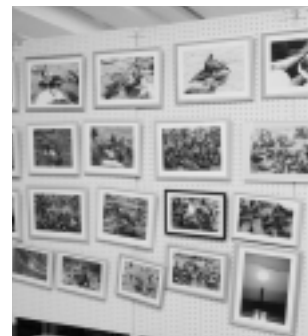
日野川の自然を活かしたスポーツ、観光資源としてラフティング用具を整備し、観光



ラフティング用具を整備

空きビル活用

空きビルを障害者小規模作業所及びオシドリを中心とし



作業所とオシドリ観光に

振興を図る。
ラフティング用品購入
百五十万円

日野町山村開発センター調理実習台改修

老朽化した調理実習台を改修し、食の安全と利用者の安全確保を図る。
四百万円

た観光案内展示場として整備し、障害者の自立支援と観光振興を行う事業者に対して支援を行う。（オシドリ駐車場前・根雨地区内）
百万円



松本 利秋議員

情報格差の是正

「地デジ」対策は

松本 町内どこの集落に住んでいようと、通信や情報の恩恵を町民が等しく受けられるようにすることが大切であり、喫緊の課題です。

昨年十月、地デジ放送用の中日野局が開局し、町内の大半の世帯でテレビが見られるようになりましたが、まだ、難視聴地域があり、早急に日野局(古峠山)の整備(五波)を働きかける必要があると思います。その予定は、

町長 まだ共聴受信施設や根雨の一部で受信状態が良好でない所があり、日野局の開局が期待されています。

現在、日野局はNHKと日本海の三波のみであり、これを民放三社すべてに整備(五波)していただくよう、江府町と日野町が連携して要望活動を行っています。

携帯電話 不感地区の解消

松本 携帯電話の不感地区解消に向けて中継局の整備が町内で進められています。三土、小原地区は対応エリアから外れます。その解消対策と取り組みは、



携帯電話通信で高速インターネット通信が可能に

町長 携帯電話の不感地区解消に向けて、逐次通話エリアが広がっています。

今年になって金持、中萱近江)地区が通話可能に。今後高尾、秋縄、板井原、久住地区において建設が進められる計画で、全くの不感地区は三土と小原の二地区と考えます。

今や携帯電話は、生活の必需品の一つであると考えます。国の補助金や経済対策交付金を活用して、今、検討を進めています。

これが実現すれば、おおむね町内の不感地区は解消されると思っています。

携帯で

インターネット

松本 インターネットをする

場合、現在のN T T回線では通信速度に問題があります。

現在、携帯でのブロードバンド(大容量高速通信)が可能になり、携帯の整備はメリットが大きいと思います。

町長 ブロードバンド用の光ファイバーを張りめぐらしていない町は、県内では本町を含めて五町あります。

この整備には、莫大な経費がかかり、今後の維持管理費を考えると、現在の財政状況からしてできません。

情報化の技術は日進月歩で、携帯電話の不感地区を無くして、携帯電話を使ったブロードバンド化を進めます。

議会のうごき

4月

10日 例月出納検査
13日 議会広報調査特別委員会

16日 全員協議会

17日 郡議長連絡会打合せ

20日 議会広報調査特別委員会

22日 議会広報調査特別委員会

24日 町人権同和教育推進協議会総会

26日 町消防操法大会
30日 おしどり学園開講式

5月

4日 下黒坂運動会
11日 例月出納検査

18日 日野病院組合議会臨時会

19日 全国町村議会議長・副議長研修会

20日 町商工会総会

23日 新過疎法制定要望会
24日 根雨小・黒坂小運動会

28日 日南町制50周年記念式典

30日 第3回町議会臨時会
町観光協会総会



竹永 明文議員

町民主体の まちづくりを

町長の夢とは

竹永 財政難の本町も執行部の努力と町民の協力により、町政に対する夢がもてるようになったが、具体的に町長の夢とは何か。

町長 町民の皆さんが安全で安心して生きいきと暮らしていただけるまちづくりを優先して考えなければならぬと思っております。

竹永 抽象的な夢でなく、町民が目標を持っていくためにはもう少し具体的に示していただきたい。

町長 町民主体のまちづくり、これが私の夢でありますので、一步一步、前に進んでいきたい。町民みんなが本町の住民として誇りを持っていただける、そういうまちづくり、これが私の夢です。

地域活性化促進は

竹永 スーパーマーケット跡地の再生に町が窓口になって取り組む考えはないか。

町長 町民の皆さんから閉店されて大変不便になった、何とか再開をすることができなところ等々、意見を聞いています。今のところ、町

が直接の窓口となって取り組み、あるいは再生のための支援などについて考えています。

農地を活かした 定住対策は

竹永 本町は自然豊かで生活に必要な施設がコンパクトにまとまった地域であり、全国的にも珍しい町であります。

魅力的な町だけに、受け皿が充実すれば多くの人が移住するのではないか、団塊の世代で移住を考える人は少なくない。

自給自足程度の田畑を耕しながら田舎でのんびり暮らせるように、新農地法を取り入れて農地の活用方法を考えるべきでないか。

町長 そういうことも大切だと思いますが、若者たちが住みよいまちづくりが大切ではないかと思っております。本町の職場で勤めている方に定住していただいで、そこから対策を考えてみたいと思つて



都会在住者が田舎でブルーベリー栽培を

います。
竹永 団塊世代の人は農地を買いたいという人が結構多い週末とか盆、正月には家族で来町され、その中から一人でも本町に住んでみたいという人があれば定住対策になると思う。
町長 十分考えられることであり、農業委員会と連携しながら、慎重に検討してみたいと思います。

14日	13日	10日	9日	8日	5日	2日	1日	7月	30日	29日	27日	19日	18日	15日	9日	7日	6月	
第5回町議会臨時会	総会	西部町村議会議長会	例月出納検査	全員協議会	議会広報調査特別委員会	大会	金持景藤祇い式	西部消防ポンプ操法	大会	全員協議会	議会広報調査特別委員会	平和観音祈りの集い	第4回町議会議定例会	総務経済常任委員会	教育民生常任委員会	第4回町議会議定例会	総務経済常任委員会	舟場運動会
							日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会	日野地区幹線道路整備促進協議会総会



中原 明議員

新型インフルエンザ 対策本部は どう行動されたか

情報公開が 万全であったか

中原 新型インフルエンザは世界中に猛威を振るい我が国にも多数の感染者が発生、町対策本部はどう行動されたか
町長 県の指示に基づき、マニュアルに沿って対応した。
中原 情報公開がなされなかったのではないか。

町長 自ら感染しないいうつさないため、意識の啓発を促進し、感染拡大防止の手段に防災無線を活用周知徹底した。
中原 防災無線は、言いつばなしの一方通行ではないか。
厚労省はインターネットを通じ、インフルエンザの感染は①飛沫感染 ②接触感染、症状は咳、鼻水、高熱、倦怠感、頭痛等。かからないコツコツ外出を控え、うがい、手洗い、咳エチケット。うつさないコツコツ出社や登校せず休む、発熱相談センターに電話する等。県対応マニュアル概要版によると、第一章から第九章は医療対応、第十章から第十四章は社会対応となり、特に第十章は事業所、職場対応、第十一章は個人、一般家庭、コミュニティ、町対応であり、高齢者、独居家庭、弱者の把握、情報提供等感染発生前、

発生後と対応が示してある。マニュアル通り対応がなされていない。文書広報の配布もされていない。

総務課長 町の役割分担に基づき、対策行動計画を整備しており、情報提供は防災無線で県からの情報を六月十五日迄十五回、十六日後は昼夜二回放送。事業所等には説明会を設けて対応している。
文書配布は二十日のお知らせ版です。

中原 六月二十日では遅すぎる。インフルエンザ対策資材購入事業八十万円の対処は。

総務課長 サージカルマスク、消毒用アルコール、装備品を計画、発注入荷済みはマスク、防護眼鏡、防護用ガウン、キヤップ等、マスクは現在千枚入荷済みです。

予算執行は九万四千円です。中原 ウイルス遺伝子が異変を起こし、強毒化して第二波以降が脅威と云われるが、この体験をどう活かすか。



インフルエンザの予防にはマスクを

町長 国、県の指導に基づき予防線を張り、町民の安全、安心は、町長の責任において慎重に取り扱いをする。

黒坂診療所の週三回 診療はいつからか

中原 黒坂診療所は、週三回診療が週二回になっているがいつから週三回になるか。

町長 状況が落ち着く迄と、聞いていますが、現時点ではわかりません。

日野郡町議会議員 研修会



15日	総務経済常任委員会 議会広報調査特別委員会
15日	監査委員研修
15日	西部町村議会議長会
17日	行政調査
19日	県消防操法大会
21日	日野病院組合議会臨時会
22日	議会広報調査特別委員会
22日	決算審査
23日	郡町村議会議員研修会及び親善球技大会
27日	議会広報調査特別委員会
29日	決算審査
30日	西部広域行政管理組合議会臨時会
31日	決算審査 県後期高齢者医療広域連合議会臨時会



佐々木 求議員

緊急経済対策は 地元業者優先で

地域経済を 守るためにも

佐々木 今回の世界同時不況は、日本の経済を直撃し、町内でも多くの業者が困難な状況になっている。政府の緊急経済対策として大型公共事業や自動車、家電の買い替えなど、地方にも予算がつき始めた。経済危機で苦しむ町民・



工事発注は地元業者優先で

町内業者の方々を真に救うために、可能な限り行政としての努力を行うときだ。

今後新たな財政負担や、財政再建の制約にならないよう展開しなければならぬ。入札に当って町内業者優先の見直しが必要ではないか。

町長 大不況の中、特に産業の少ない本町では、歳出抑制を進めてきたこともあり、地域経済や雇用問題が深刻な状況になっている。

指名競争入札参加資格は地方自治法施行令に基づき行っているが、町の単独予算で執行できるものや、制限のないものに対してはそれなりの対応をしている。

最低制限 価格の設定

佐々木 業者の能力も向上し、設定価格の二割前後で設定できるようになっている。業者の中には事後公表を求める声もある。仕事は受注したが、経営赤字では、い

たしかたない。今回の対策から見れば、十分配慮する必要があると考えるがどうか。

町長 制限価格の設定で、逆に皆んながそれで落札され、本来の意味での入札にならない状況になっている。法的に規制のないものについては上げていくという傾向に全国的にもある。設計がシビアになっている今日、大きく落ちた制限価格を設けるのは酷だと思ふ。

協働で乗りきる時

佐々木 大きな業者が落札していき、地方の零細事業者が守れないのでは地域の経済も守れない。零細、個人業者の住み分けも必要ではないか。何ヶ月も仕事のない人もたくさんいる。分離発注も検討すべきではないか。

町長 分離発注が多くなれば経費のかかる悩みもあるが、職員に負担もかかり、できる限り地元の業者が潤うよう発注の方法、仕事を出すよう頑張っ見てたい。町内業者を育成することが大事で、そのためにも国や県は今回のような補正予算の組み方でなく、安定した予算配分を行うことが望まれる。



七月二十三日、第十回研修会が日野町で開催され郡内の議員が参集しました。

県議会議員、内田博長氏を講師に「四方山話」と題して、中世からの日野川流域の生い立ち、たたらが全国生産量の七割を占め、大工業地域として栄えたこと。備中松山藩の財政再建に努めた『山田方谷』は、上方商人からの借財を十年間で返済する方策に玉鋼の二次加工をして財政再建の礎としたこと。

地場産物を活かす政策こそ地域に活力が生まれ、過疎化が進む時こそ、地域の文化を大切にして、発展させることが、心豊かで、潤いのある暮らしの糧と、力説されました。

新体制で信頼される議会を

任期満了に伴い6月定例会で、委員会構成を決めました。

委員会条例で、議員はいずれかの委員会に所属すること。任期は2年と定められています。各委員会の活動が、議会の活性化につながり、信頼される議会になるように努めます。

委員長の抱負

総務経済常任委員会

委員長 中原 明

本委員会は、執行機関の行政の実施が適正、公平、効果的になされているかを監視するため、積極的に所管事務の調査を行います。

執行部と議会は車の両輪とはいえずタイヤのサイズが異なることを認識して、住民の立場にたつて監視いたします。

委員会に付託された事件など詳細に審査するため、現場にでかけ実施内容、効果、改革の必要性、方向について政策点検につとめ、清新で活発な委員会活動を展開いたします。

教育民生常任委員会

委員長 竹永 明文

少子高齢化が進む本町において、今年度から始まる小学校・中学校一貫教育の取り組みのあり方・福祉・医療の充実と多くの課題が山積してきますが、本町に即した教育・

福祉・医療の構築を目指して、住民の皆様のご意見を聞きながら検討していきたいと考えています。

議会運営委員会

委員長 佐々木 求

世界同時不況は、地域経済も深刻な状況に追い込んでいます。こうした時ほど、身近な政治が住民のくらしや安全を、本当に守るために頑張っているかどうかを試されるときでもあります。

財政再建時の苦しみを考えたとき、他に類をみない時期ということになります。こういうときこそ議会の在り方が問われると思います。

一気呵成になかなかできないが、議論をつくして合意形成を図るのが議会の役割、全力をつくす決意です。

総務経済常任委員会

委員長 中原 明

副委員長 松原 直人

委員 石田 幹暢

委員 宮田 和也

委員 佐々木秀明

教育民生常任委員会

委員長 竹永 明文

副委員長 松本 利秋

委員 佐々木周子

委員 佐々木 求

委員 小谷 博徳

議会運営委員会

委員長 佐々木 求

副委員長 石田 幹暢

委員 竹永 明文

委員 中原 明

委員 小谷 博徳

議会広報調査特別委員会

委員長 佐々木周子

副委員長 松本 利秋

委員 中原 明

委員 松原 直人

委員 小谷 博徳

あとがき

新型インフルエンザの流行は収まるどころか国内で拡大し、県内でも発生している。予防に勝るものは無しといわれる様に、町民皆さんが認識し手洗いやうがい等に心がけましょう。

▼梅雨明けを目前に集中豪雨に見まわれた。幸いにして甚大な被害はなかったが、農作物の育生に影響するのではと懸念している。▼七月二十六日町制五十周年記念第三十二回鵜の池マラソン大会が開催された。今年本町の小・中学生や、高校生が多数参加し雨の中力走。上位入賞者もあり頼もしく思うと同時に、未来を担う宝として育てていくことが大切であると感じた。

▼第五十五回鳥取県消防ポンプ操法大会「小型ポンプの部」で、本町消防団第一分団が準優勝した。健闘を称え、今後の活躍に期待したい。▼議会広報調査特別委員会は、町民の目線に立つて、研修や調査を重ねながら情報公開の一翼を担う役割を果たす広報紙づくり、一丸となって取り組んでいく所存です。

佐々木周子